アスレチックルーム改修　（平成21年９月23日）

背景

時代の変化

- 住民の高齢化
- 終の棲家として
  永住意識の高まり
- 物質的豊かさから
  精神的豊さへ
- 分断された個から
  新たな繋がりの創成
- 多様性を持った地域
  コミュニティ再構築

共有設備の状況

- アスレチックルームが
  利用されていない
- 住民同士が気軽に
  集える場所がない

目的

当初の目的（サウナ・アスレチック）にて活用されていないアスレチックルームを住民間のつながり（縁）を紡ぐ縁側として再生する

方針

使いたいときに使える空間

- 制約の少ない
  施錠管理は？
- 責任有る
  使用管理は？
- 透明性が高く使いやすい
  予約の仕組みは？

集いてコミュニティを育む空間

- 調理（行事向け含む）
  飲食の設備は必須？
- 勉強会・お稽古・サークル活動の共通設備は？
- 遊び道具は必要？

多様な使い方ができる空間

- 従来通り会議室
  としても利用？
- 正式団体の機材・備品
  収納にも利用？
- 同時に何組も
  使えた方が良い？
- ここで使うものは
  ここに収納？
- 放送受信、
  通信設備は？

設備